

2014年2月21日

各位

石原産業株式会社

科学技術振興機構の「産学共同実用化開発事業」への採択に関するお知らせ

当社は、開発課題「癌細胞のアポトーシスを誘導する去勢抵抗性前立腺癌治療薬」（以下「本開発課題」という。）を計画し、独立行政法人科学技術振興機構（以下「JST」という。）の平成25年度産学共同実用化開発事業（第二回）に応募しておりましたが、平成26年2月19日付でJSTより本開発課題を採択したことが公表されましたので、お知らせいたします。今後、JSTより開発委託を受けて、子会社であるジェノメディア株式会社（本社；大阪市、代表取締役社長中島俊洋）および大阪大学と連携しながら、本開発課題の実用化に向けた開発に取り組んでまいります。

【本開発課題について】

本開発課題は、大阪大学大学院医学系研究科 研究科長／医学部長の金田安史教授（遺伝子治療学）が発明されたHVJ-E（注）／開発コードGEN0101について、去勢抵抗性前立腺癌治療薬（医薬品）として薬事法に基づく製造販売承認を取得することを目的としています。

HVJ-Eは、直接的な殺癌細胞効果のみならず癌細胞特異的な免疫賦活効果を併せ持つ新規バイオ抗癌剤で、大阪大学医学部附属病院において前立腺癌および悪性黒色腫（メラノーマ）を対象とした医師主導の臨床研究が進められてきました。

当社グループは、大阪大学の発明に基づいて創出されたシーズ（特許の原権利を当社グループが保有）の実用化のため、HVJ-E研究試薬（ゲノムワシ）の製造販売、医薬原薬GMP製造の経験・知見・ノウハウを活かして、産学官連携の取り組みを推進いたします。

（注）HVJ-E：Hemagglutinating virus of Japan–Envelope

（センダイウイルスを不活化処理することにより増殖性や感染性をなくした安全な粒子）

以上

本件に関するお問い合わせ先  
石原産業株式会社  
開発企画研究本部  
生命技術開発部長 宮田敬三  
電話 06-6444-7182